

日本海水学会誌 第78巻（令和6年）総目次

表 題	著 者	号 通巻	頁
巻頭言			
日本海水学会の研究活動	外輪健一郎	1 (442)	1
2024年度日本海水学会第75年会研究技術発表会を迎えて	前田 光治	2 (443)	69
更なる飛躍を！！（過去—現在—未来）	東郷 育郎	3 (444)	160
分析科学研究会特集号発刊にあたって	鈴木 保任	4 (445)	195
特集「研究会横断シンポジウム：2050年に向けた海水研究の最前線」			
（研究会紹介）電気透析および膜技術研究会	比嘉 充	1 (442)	2
（解 説）イオン交換膜開発の過去・現在・未来	永谷 剛	1 (442)	3～ 9
（研究会紹介）身近の現象である腐食は複雑な現象	長 秀雄	1 (442)	10
（解 説）我が国における洋上風力発電設備支持構造物の防食工法の検討	福永 勇介, 吉田 倫夫, 小林 厚史, 川瀬 義行	1 (442)	11～ 15
（研究会紹介）環境・生物資源研究会	野田 寧	1 (442)	16
（総 説）“持続可能性”と“多様性”を両立させた海水研究とは！ —万物創世ものづくりの在り方—	矢沢 勇樹	1 (442)	17～ 24
（研究会紹介）塩と食の研究会	中山 由佳	1 (442)	25
（解 説）塩見の知覚強度に影響する因子	小竹佐知子	1 (442)	26～ 27
（研究会紹介）分析科学研究会の紹介	鈴木 保任	1 (442)	28
（解 説）海水等の塩水分析における溶媒抽出法の新たな応用	勝田 正一	1 (442)	29～ 36
（研究会紹介）海水資源・環境研究会の紹介とシンポジウムでの講演	日秋 俊彦	1 (442)	37
（解 説）海洋温度差発電システムの基礎発電特性と海水資源利用	安永 健	1 (442)	38～ 43
2024年度日本海水学会第75年会研究技術発表会講演要旨集			
発表会プログラム		2 (443)	70～ 76
講演要旨（学術研究セッション 口頭発表 ポスター発表）		2 (443)	77～125
技術交流セッション概要		2 (443)	127～131
若手会報告			
第15回学生研究発表会を終えて	山中 真也	2 (443)	134～136
見学会および第22回若手の集いを終えて	倉科 昌	3 (444)	158
2024年度日本海水学会第75年会を終えて			
実行委員長あいさつ	比嘉 充	3 (444)	147～148
年会記事		3 (444)	149～157
特集：「海水資源・環境研究の最前線」			
（まえがき）特集にあたって	日秋 俊彦	3 (444)	161
（解 説）炭酸カルシウムの構造と機能～カドミウムイオンの吸着～	山中 真也	3 (444)	162～167
（総 説）電気透析排水からマグネシウムおよびカルシウムを分離するナノろ過膜の開発	赤松 憲樹, 新谷 卓司	3 (444)	168～173
（解 説）ブルーカーボン研究の現在	久保 篤史	3 (444)	174～181
特集「分析科学の基礎から最先端研究まで」			
（解 説）キャピラリーゾーン電気泳動法による塩中無機陰イオンの定量： ヨウ化物およびヨウ素酸イオン，リン酸イオン	福士 恵一	4 (445)	196～206
（解 説）仮説検定から見た分析値の信頼性	上本 道久	4 (445)	207～211
（解 説）LEDを光源に用いる簡易な分析装置の開発と応用	鈴木 保任	4 (445)	212～218
報 文			
Selective Removal of Fluoride Ion from Aqueous Solution Coexisting Iodine Ion Using Titanium Oxide Minerals	Takaaki WAJIMA, Shunsuke DEI	4 (445)	219～223

ノート

元素マッピングによるサメの脊椎骨に取り込まれたバリウムの評価	土屋光太郎, 根本 雅生, 風間 仁美, 田中 美穂	1 (442)	44~ 51
誘導結合プラズマ質量分析法による塩中の銅, ヒ素, カドミウムおよび鉛の一斉分析法の検討	麻田 拓矢, 野田 寧	4 (445)	224~230

講座

時代は「減塩」から「適塩」へ	青山 志穂	2 (443)	132~133
リレーエッセイ (58) 「しょっぱいはなし」	亀井真之介	1 (442)	52
リレーエッセイ (59) 「しょっぱいはなし」	高瀬 清美	2 (443)	138
リレーエッセイ (60) 「しょっぱいはなし」	長 秀雄	3 (444)	182
リレーエッセイ (61) 「しょっぱいはなし」	氏家 秀隆	4 (445)	231
若手会だより (9)	小川 襲	1 (442)	53
若手会だより (10)	外輪健一郎	2 (443)	139
若手会だより (11)	倉科 昌	3 (444)	183
若手会だより (12)	山中 真也	4 (445)	232

研究会だより

2024(令和6)年度 塩と食の研究会	小竹佐知子	3 (444)	184
---------------------	-------	---------	-----

研究会紹介

「日本海水学会各研究会の紹介」		2 (443)	137
-----------------	--	---------	-----

会告

日本海水学会会則		1 (442)	54~ 60
日本海水学会誌投稿規程		1 (442)	61~ 65
第 430 回日本海水学会理事会議事録		1 (442)	66
第 334 回日本海水学会編集委員会議事録		1 (442)	66~ 67
第 24 回マリンバイオテクノロジー学会大会		1 (442)	67
第 431 回日本海水学会理事会 (オンライン理事会) 議事録		2 (443)	140
第 335 回日本海水学会編集委員会議事録		2 (443)	140~141
日本膜学会「第 46 年会」		2 (443)	141
ソルト・サイエンス研究財団 第 36 回助成研究発表会		2 (443)	141
2024 年度第 1 回晶析・湿式プロセス合同分科会		2 (443)	141
ソルト・サイエンス・シンポジウム 2024		2 (443)	142
第 432 回日本海水学会理事会 (オンライン理事会) 議事録		3 (444)	185
第 49 回日本海水学会評議員会議事録		3 (444)	186
ソルト・サイエンス研究財団 2025 年度研究助成公募		3 (444)	191
ソルト・サイエンス・シンポジウム 2024		3 (444)	191
公益社団法人化学工学会東海支部 第 58 回 化学工学の進歩講習会「CO2 削減, クリーンエネルギー, CCUS の研究開発フロンティアーカーボンニュートラル実現に向けた産官学の取り組み」		3 (444)	191~192
連合年会 2024 (第 37 回日本イオン交換研究発表会・第 43 回溶媒抽出討論会)		3 (444)	192
日本膜学会「膜シンポジウム 2024」		3 (444)	193
Salt & Seawater Science Seminar 2024 のご案内		3 (444)	193
第 433 回日本海水学会理事会議事録		4 (445)	233
第 336 回日本海水学会編集委員会議事録		4 (445)	234
Salt & Seawater Science Seminar 2024 のご案内		4 (445)	234

著 者 索 引

青山 志穂	時代は「減塩」から「適塩」へ	2 (443)	132~133
赤松 憲樹	電気透析排水からマグネシウムおよびカルシウムを分離するナノろ過膜の開発	3 (444)	168~173
麻田 拓矢	誘導結合プラズマ質量分析法による塩中の銅、ヒ素、カドミウムおよび鉛の一斉分析法の検討	4 (445)	224~230
上本 道久	仮説検定から見た分析値の信頼性	4 (445)	207~211
氏家 秀隆	リレーエッセイ (61) 「しょっぱいはなし」	4 (445)	231
小川 襲	若手会だより (9)	1 (442)	53
小竹佐知子	塩見の知覚強度に影響する因子	1 (442)	26~ 27
小竹佐知子	2024(令和 6)年度 塩と食の研究会	3 (444)	184
風間 仁美	元素マッピングによるサメの脊椎骨に取り込まれたバリウムの評価	1 (442)	44~ 51
勝田 正一	海水等の塩水分析における溶媒抽出法の新たな応用	1 (442)	29~ 36
亀井真之介	リレーエッセイ (58) 「しょっぱいはなし」	1 (442)	52
川瀬 義行	我が国における洋上風力発電設備支持構造物の防食工法の検討	1 (442)	11~ 15
久保 篤史	ブルーカーボン研究の現在	3 (444)	174~181
倉科 昌	見学会および第 22 回若手の集いを終えて	3 (444)	158
倉科 昌	若手会だより (11)	3 (444)	183
小林 厚史	我が国における洋上風力発電設備支持構造物の防食工法の検討	1 (442)	11~ 15
新谷 卓司	電気透析排水からマグネシウムおよびカルシウムを分離するナノろ過膜の開発	3 (444)	168~173
鈴木 保任	分析科学研究会の紹介	1 (442)	28
鈴木 保任	分析科学研究会特集号発刊にあたって	4 (445)	195
鈴木 保任	LED を光源に用いる簡易な分析装置の開発と応用	4 (445)	212~218
外輪健一郎	日本海水学会の研究活動	1 (442)	1
外輪健一郎	若手会だより (10)	2 (443)	139
高瀬 清美	リレーエッセイ (59) 「しょっぱいはなし」	2 (443)	138
田中 美穂	元素マッピングによるサメの脊椎骨に取り込まれたバリウムの評価	1 (442)	44~ 51
長 秀雄	身近の現象である腐食は複雑な現象	1 (442)	10
長 秀雄	リレーエッセイ (60) 「しょっぱいはなし」	3 (444)	182
土屋光太郎	元素マッピングによるサメの脊椎骨に取り込まれたバリウムの評価	1 (442)	44~ 51
Shunsuke DEI			
	Selective Removal of Fluoride Ion from Aqueous Solution Coexisting Iodine Ion Using Titanium Oxide Minerals	4 (445)	219~223
東郷 育郎	更なる飛躍を！！(過去—現在—未来)	3 (444)	160
中山 由佳	塩と食の研究会	1 (442)	25
永谷 剛	イオン交換膜開発の過去・現在・未来	1 (442)	3~ 9
根本 雅生	元素マッピングによるサメの脊椎骨に取り込まれたバリウムの評価	1 (442)	44~ 51
野田 寧	環境・生物資源研究会	1 (442)	16
野田 寧	誘導結合プラズマ質量分析法による塩中の銅、ヒ素、カドミウムおよび鉛の一斉分析法の検討	4 445	224~230
日秋 俊彦	海水資源・環境研究会の紹介とシンポジウムでの講演	1 (442)	37
日秋 俊彦	特集にあたって	3 (444)	161
比嘉 充	電気透析および膜技術研究会	1 (442)	2
比嘉 充	実行委員長あいさつ	3 (444)	147~148
福士 恵一	キャピラリーゾーン電気泳動法による塩中無機陰イオンの定量： ヨウ化物およびヨウ素酸イオン、リン酸イオン	4 (445)	196~206
福永 勇介	我が国における洋上風力発電設備支持構造物の防食工法の検討	1 (442)	11~ 15
前田 光治	2024 年度日本海水学会第 75 年会研究技術発表会を迎えて	2 (443)	69
矢沢 勇樹	“持続可能性”と“多様性”を両立させた海水研究とは！？ —万物創世ものづくりの在り方—	1 (442)	17~ 24
安永 健	海洋温度差発電システムの基礎発電特性と海水資源利用	1 (442)	38~ 43
山中 真也	第 15 回学生研究発表会を終えて	2 (443)	134~136
山中 真也	炭酸カルシウムの構造と機能～カドミウムイオンの吸着～	3 (444)	162~167
山中 真也	若手会だより (12)	4 (445)	232
吉田 倫夫	我が国における洋上風力発電設備支持構造物の防食工法の検討	1 (442)	11~ 15
Takaaki WAJIMA			
	Selective Removal of Fluoride Ion from Aqueous Solution Coexisting Iodine Ion Using Titanium Oxide Minerals	4 (445)	219~223